



戦略立案

社会変革とオープンイノベーションを促す基盤

未来社会デザイン統括本部 2022.4.1設置

- ▶ 多様なステークホルダーとの協働
- ▶ 総合知を活かした社会課題解決の取組推進



エンゲージメント強化

九大版
地域連携
プラット
フォーム

- ▶ 九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）をはじめとする様々なコンソーシアム等との連携強化
- ▶ 産学官民連携による社会実装・社会課題解決に向けたプラットフォーム

社会

データ駆動イノベーション推進本部 2022.4.1設置

- ▶ データ駆動型の教育・研究・医療の展開
- ▶ 新たなデジタル社会の「あるべき姿」の提案
 - ◆ 運営・企画部門
 - ◆ デジタル社会創造研究部門
 - ◆ ラーニングアナリティクス部門
 - ◆ 次世代型オープンエデュケーション推進部門
 - ◆ 研究データ管理支援部門

※健康医療DX推進部門、データ分析支援部門を2023年以降設置予定

オープン
イノベーション
プラットフォーム
(OIP)
2022.4.1設置

合同シンポジウム（2022年9月）

- ▶ 産学の多様な講演者による社会的課題解決、DXに関する講演
- ▶ 「理想とする未来社会とは？」をテーマに意見交換



オープンイノベーションワークショップ（2022年11月）

- ▶ 3エントリーポイントをはじめとした先端研究や、企業の取組紹介
- ▶ 優れた産学連携実績の研究者を表彰



各本部の詳細はこちら ⇒
(各本部のHPへ移動します)





- 分野融合による研究体制を構築
- 分野融合研究を推進し、総合知による社会課題解決の取組を展開
- 2030年までの到達目標を設定し、ロードマップを作成 (<https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/unit/>)

【社会的課題解決に向けた推進体制の一例】

脱炭素ユニット 地域連携推進グループ

直流マイクログリッドによる省エネルギー技術社会実装

【参画教員所属】

エネルギー研究教育機構、
経済学研究院、
グローバルイノベーション
センター

環境・食料ユニット 昆虫科学グループ

食料生産・感染症対策
と生物多様性・地球環
境を両立する昆虫科学
の創出

【参画教員所属】

農学研究院、
アジア・オセア
ニア研究教育機
構

医療・健康ユニット 高深度オミクスグループ

単一細胞マルチオミクス解析技術開発による疾患予測・早期発見

【参画教員所属】

生体防御医学研究所、
情報基盤研究開発セ
ンター

シンクタンクユニット

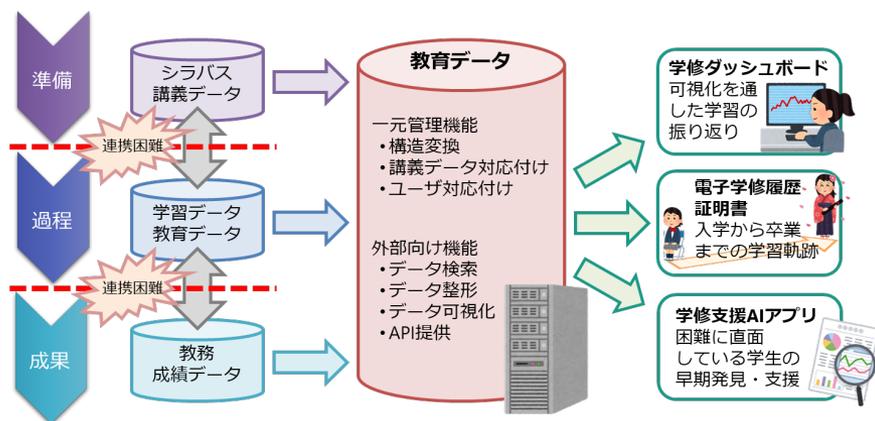
理想の未来社会をデ
ザインし、社会課題
の解決やそのプロセ
スを提案

【参画教員所属】

芸術工学研究院、
システム情報科学研
究院、法学研究院、
学術研究・産学官連
携本部

教育データ利用のワンストップ化

履修情報、活動情報、成績情報などを一か所に集約して、教育データの利用の効率化



研究データ管理支援サービスのウェブサイト構築・公開

研究データ管理・公開に関し、必要な情報、支援体制を一元化



デジタル社会創造研究部門研究会を開催

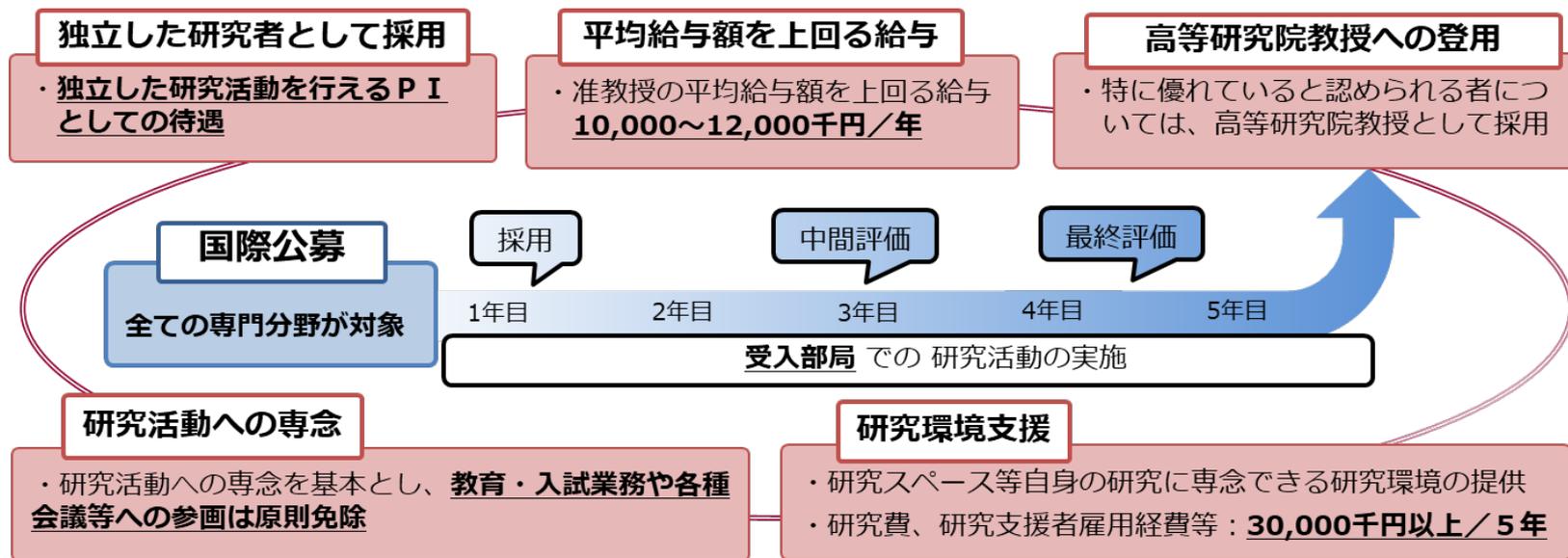
デジタル社会創造に関する研究課題を設定し、課題解決に向け集中的に研究を実施

【2022年度研究会テーマ（一例）】

- ・ 行動変容のためのナッジ理論基礎
- ・ データ駆動型農業のための植物フェノタイピング技術について
- ・ デジタル社会における文化のデザイン
- ・ 再生医工学研究とDXへの期待
- ・ 人間のこころとデジタル社会創造～認知・健康・文化心理学の視点から
- ・ A.I.導入に関する課題：アンケートデータによる比較分析

稲盛フロンティアプログラム (第I期公募: 2023年2月開始)

- 独創的、意欲的な研究展開を目指す秀逸な若手研究者の採用及び将来を担う優秀な人材の育成を戦略的に実施
- 独立した研究活動を行えるPIとしての待遇のほか、様々なインセンティブの付与



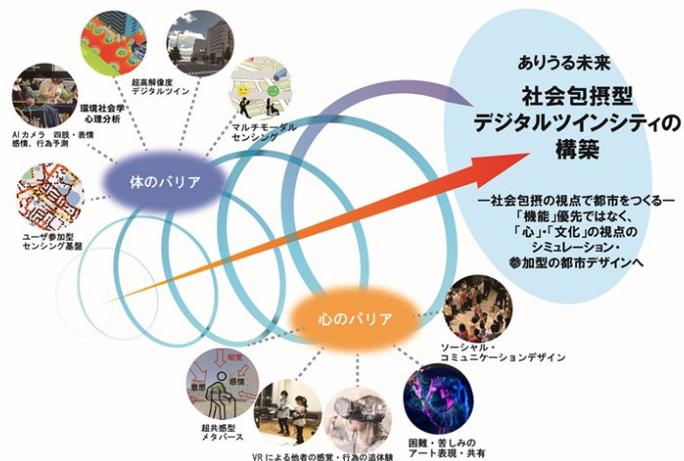
Free Quarter for Research (FQR) 制度 (2023年3月制定)

- 教育や管理運営業務を免除し、研究に専念できる期間を少なくとも1クォーター確保
- 研究時間を確保し、優れた研究成果を多く生み出せる環境を創出

内閣府主催セミナー

「総合知の普及と活用による新たな価値の創造」
 において九州大学の取組事例を紹介（2023年2月）

「超高齢化時代の回遊行動・社会参加を生み出す社会包摂型デジタルツインシティの実現」について、芸術工学研究院高取准教授が事例紹介



シンポジウム

「九州大学×社会共創『社会と大学をつなぐ挑戦』
 ～みんなでつくる総合知～」を開催（2023年3月）

社会と大学をいかに結びつけ総合知を創出・活用するか、共創の場づくりと実践について考えるシンポジウムを開催

【第一部】

「共創の場としての大学」をテーマに九州大学、大阪大学、福岡大学が取り組み事例紹介

【第二部】

「実践から学ぶ共創」をテーマに、産業界等から市民と共働、共創した取り組み事例紹介



Brown Bag Seminar

九州大学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を紹介し、異分野研究ネットワークや交流のきっかけとなる場の提供を目的としたセミナーを開催（毎週水曜日のランチタイムに実施。学内外誰でも参加可能）

【2022年度のセミナータイトル（一例）】

- 未来に広がる有機光エレクトロニクス
- 電気自動車の国際動向とカーボンニュートラルに向けた課題
- データ駆動型教育に向けたラーニングアナリティクスの挑戦
- 祭りと病 - 時代祭の誕生
- 機械翻訳の進化と語学教育
- 地球環境変動下における安定的な食料生産へ向けて
- 昆虫食の心理学
- 脳の疾患と免疫応答
- 人の行動を測り、変えていく情報技術
- 「空飛ぶクルマ」は社会に受け入れられる移手段になれるのか？

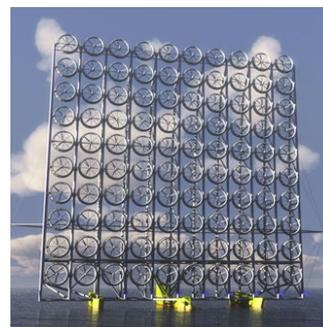
※詳細はアジア・オセアニア研究教育機構HP (<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>) を参照



洋上風力研究教育拠点整備

- ・洋上風力研究教育センター設置 (2022年4月)
- ・洋上風力産学官連携コンソーシアム設立 (2022年8月)

洋上風力発電の主電力化、分散型エネルギー社会の実現に貢献



PHR (Personal Health Record)福岡プロジェクト開始

福岡市、電通と共働し、市民が医療・健康データを自己管理できる社会の実現を目指す (2022年9月)



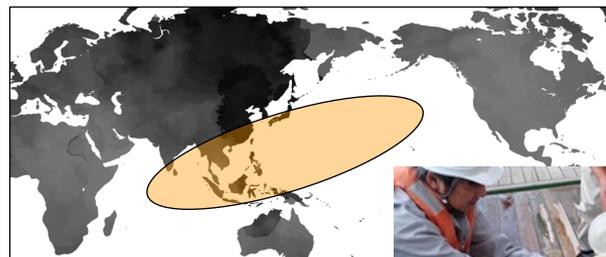
海洋プラスチック研究国際拠点整備

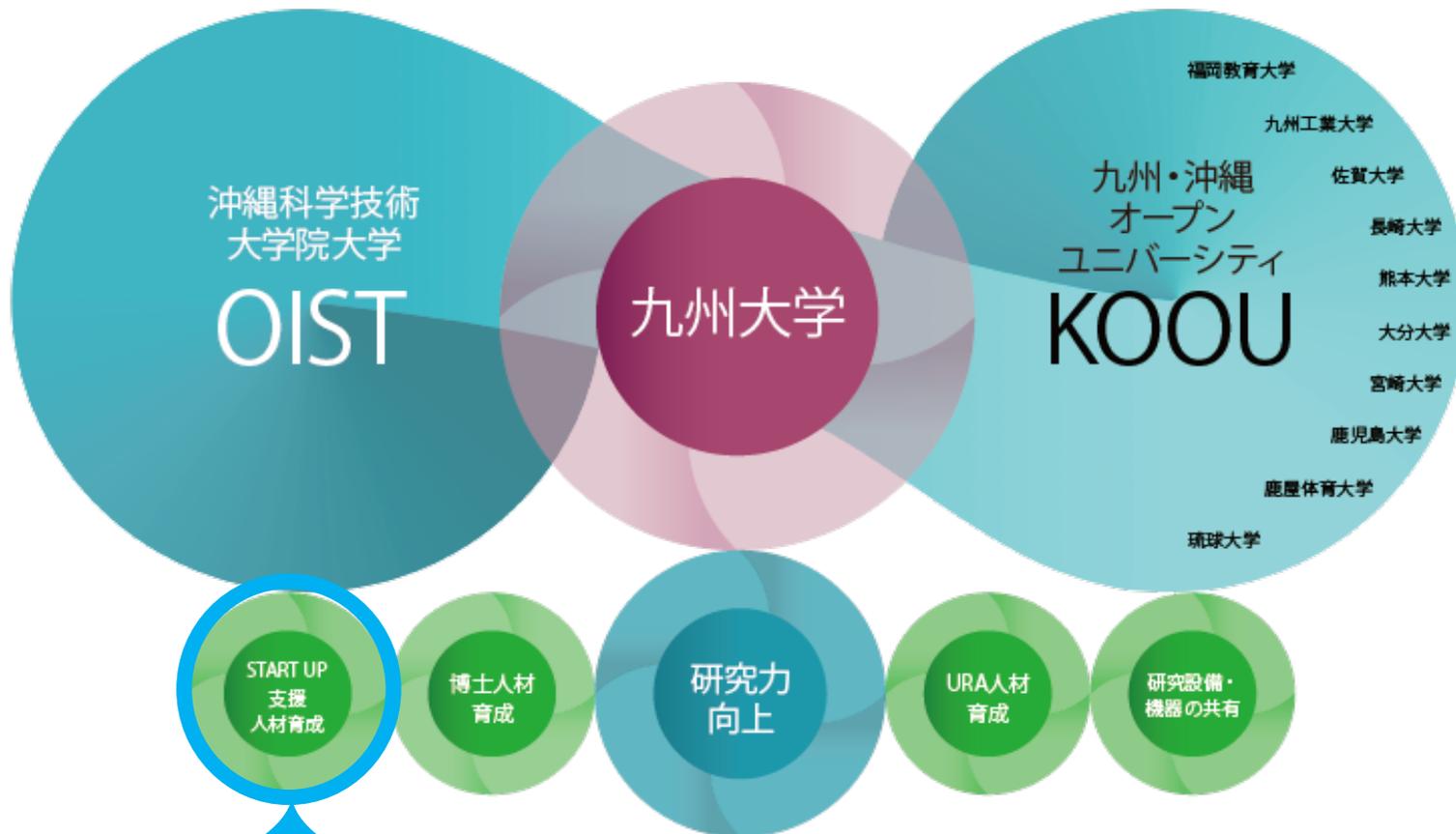
- ・タイ王国チュラロンコン大学内に海洋プラスチックセンター設置 (2022年4月)

海洋に排出される廃棄プラスチックフローの研究

河口域から海域に至る海洋プラスチックゴミのモニタリング

科学的知見に基づいた政策提言





OIST 協定締結 (2023年3月)



九州・沖縄 11国立大学 覚書締結 (2023年3月)

PARKS (Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem) (2022年8月設置)
九州・沖縄地区の国公立大学及び企業による連携プラットフォーム。起業活動支援、アントレプレナーシップ教育を実施

➤ 2023年3月 PARKS DemoDay2023を開催

事業化を目指す27チームが、半年間の活動成果として顧客検証の結果と事業構想をビジネスプランピッチとして発表

目 標

- 2026年度末までにPARKSから155社の起業を目指す
- 2026年度末には12000人/年のアントレプレナーシップカリキュラムの受講者数を目指す